

FATファイルシステム・ソフトウェアライブラリ M3S-F16LB81KおよびM3S-F16LB81S 日本語版 Ver.3.00 Release 1 への バージョンアップのお知らせ

M16CファミリM32C/80シリーズ用ミドルウェア FATファイルシステム・ソフトウェアライブラリ M3S-F16LB81KおよびM3S-F16LB81Sを以下のとおりバージョンアップしました。

- FATファイルシステム・ソフトウェアライブラリ開発キット:
M3S-F16LB81K Ver.3.00 Release 1 日本語版
- FATファイルシステム・ソフトウェアライブラリ量産契約:
M3S-F16LB81S Ver.3.00 Release 1 日本語版

1. バージョンアップ内容

1.1 新機能

- (1) FAT32ファイルシステムをサポート
FAT12, FAT16およびVFATファイルシステムに加え、FAT32をサポートします。
なお、FAT32サポートのため、一部のAPIで仕様を変更しました。
- (2) 文字コードとして、ASCIIを追加
使用可能な文字コードとして、以下から選択可能になりました。
 - 半角英数字のみ
 - 半角英数字／半角カタカナ
 - 半角英数字／半角カタカナ／シフトJIS
- (3) ROMサイズのコンパクト化
使用頻度の低い以下の関数を、追加可能な拡張ライブラリ扱いにすることで、ROMサイズを圧縮しました。

対象関数：mfs_chkdisk()およびmfs_defrag()

(4) 特定機能追加拡張ライブラリのサポート

FAT32を使用する上で、パフォーマンス向上を図るための仕組みを入れ込み、機能特化した拡張ライブラリを追加することで、システムに必要な特定機能を追加させ、処理の高速化をできるようにしました。

拡張ライブラリのリスト

- ファイル削除拡張ライブラリ（ディレクトリ内ファイル一括削除機能）
- クラスタ管理拡張ライブラリ（書き込み時の空きクラスタ検索の高速化）
- lseek拡張ライブラリ（シーク機能の高速化）
- ツール拡張ライブラリ（mfs_chkdisk()およびmfs_defrag()専用の別ライブラリ化）
- ファイルオープン拡張ライブラリ（注：開発中）
（mfs_dir()およびmfs_dirfast()との連携によるファイル検索からオープン処理までの高速化）

1.2 改修内容

Ver.1.00およびVer.2.00の以下の不具合を改修しました。

- (1) mfs_lseek()を使って、ファイルポインタをクラスタサイズの整数倍に設定し、mfs_write()を使って、リサイズ(0バイトの書き込み操作でファイルポインタより後ろのデータを切り捨てる)を行った場合、ファイルのリサイズに失敗する。
- (2) 以下の条件を満たす場合、ファイルエントリ情報をPBRに上書きする。

発生条件

- 1クラスタが1セクタ(512バイト)である。
- 作成するファイル名またはディレクトリ名が209文字以上である。
- 書き込むファイルエントリ情報が、3クラスタにまたがっている。

仕様詳細は、M3S-F16LB81KおよびM3S-F16LB81Sのデータシートを参照ください。

2. 購入方法(有償)

オンラインバージョンアップはありません。

ご注文の際には、以下の情報を最寄りのルネサス販売または特約店までご連絡ください。

新規ご購入の場合

製品名 : M3S-F16LB81K

(いずれか選択) M3S-F16LB81K

バージョン番号 : Ver.3.00

リリース番号 : Release 1

言語 : 日本語

製品の使用環境 : OS非依存 (μITRONのセマフォ管理することも可能)

CD-ROMによるバージョンアップの場合

上記情報とバージョンアップ希望の旨を、最寄りのルネサス販売または特約店までご連絡ください。

【免責事項】

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。